



# お口爽やかですか

テーマ 有機フッ素と、無機のフッ素の違い

## むし歯予防の「無機フッ素」と「有機フッ素」は無関係

先日、《有機フッ素による水質汚染》について新聞に報じられ、この紙面でもむし歯予防の効果を紹介してきた「無機のフッ素化イオン」と混同する人がいると聞きましたので、老婆心ながら誤解のないように解説します。

たとえば、同じ塩素でも塩素ガスや食塩、塩酸、塩化ビニールなどがあり、同一であると論ずることは誤りです。

結論から言いますと、水質汚染の有機フッ素化合物のフッ素は（有機）とフッ化物洗口の無機のフッ素イオンとは無関係ですので、むし歯予防のためにフッ化物洗口やフッ素塗布を行ってもなんら問題はありませ

### 米国環境保護局(EPA)「有機フッ素」水質汚染に懸念

それでは、水質汚染のPFOA/PFOSとは何かというと、パーフルオロオクタノ酸、またはベルフルオロオクタノ酸ということ

この有機フッ素の最近の流れは、まず、1990年代に入りPFOAの有害性が認識され始めました。これを受けて2000年に米国環境保護局(EPA)では、PFOAのリスク評価に着手した。06年にPFOAの管理プログラムを公表

PFOAは環境中で非常に残留性があり、環境中および一般のアメリカ人の血液中に低濃度ではあるが見

は動物実験の段階ですが、発達障害やその他の有害なことに影響を引き起こすことがあります。

また、PFOAは人間の体内に長い間残留するよう

1970年代にロチェスター大学医科歯科学部のドナルド・タブス博士は、彼自身の血液サンプルの精密検査の結果、血中のフッ化物のあるものは有機であり、歯科衛生の目的で公共水道

水中に加えられるフッ化物のタイプとは無関係であることを報告しています。

### EPA「むし歯予防の無機フッ素」を推奨

米国環境保護局では、むし歯予防のためにフロリデーション（水道水のフッ化物濃度適正化）を推奨しており、米国ではほとんどの大都市で実施し、国民の約65%が水道水のフッ化イオン濃度が適正にコントロールされたフロリデーションの水を引用している。

これらの事例から理解できるように、水質汚染の有機フッ素化合物のフッ素（有機）と虫歯予防のための無機フッ化物イオンとはまったく無関係なのです。